

## 出産後の初浣腸

昨年の晩秋に妊娠した妻の咲恵が、この9月になって女の子を出産した。初産だった。お産は大手の産院で母に付き添われて出産したが、今日、咲恵は母と共に3000gの元気な女の赤ちゃんを抱いて、嬉し恥ずかしの顔で帰ってきた。

## 出産した女体

母も嬉しそうにいそいそと初孫の世話を焼いている。咲恵の肌は透き通るように白く出産前より大分痩せて、一層女らしい身体になって戻ってきた。女は子供を産んで一人前というが、今度のお産で本当の大人の女になったのだろう。出産した事で自信が出てきたのか、この頃は仕草も大人びて色気も増したように見える。まだ産後間もないので抱く事は出来ないが、風呂でその身体を見ると、おっぱいも尻も大きくなって、本当に色気が滲み出ている。ふるいつきたくなるほどだが、本人は自分の魅力の変化にはまだ気が付いていないと思う。咲恵は産後の身体の回復と、赤児の世話で精一杯の毎日を送っている。

## 産院での浣腸

このひと月の間は家中が初孫の誕生で落ち着かなかつたが、月が変わってようやく落ち着きを取り戻し、平素の日常が戻ってきた。

寝室で咲恵の肌の感触を楽しみながら、寝物語に産院のお産の事を聞いてみると、夫婦の間でも恥ずかしいことがあるらしく、小さい声でぼそぼそ話し出した。

「あなた、わたし初めてのお産でしょう！ お義母様からも実家の母からもいろいろ聞かされていだけれど、本当に痛くって大変だったのよ！ お産って恥ずかしい事ばかり！ だって、あんなにお浣腸されるなんて、母も教えてくれなかったもの！」

「咲恵は妊娠中も大きいお腹で大変だったな、陣痛きた時も痛そうで可哀そうだったよ！ よくがんばった！ ありがとう！」

「お印があつて3日目に陣痛が始まったでしょう！ あなた出張で居なくて、すぐにお義母様と産院に行ったのよ！ そうしたら、最初の診察で助産婦さんにお通じのこと聞かれたのよ！ 今日はお通じありましたかって。私その時三日くらいお便秘だったでしょう！ そう正直に言ったの。

お部屋に入ってベッドに寝たらすぐに看護婦さんが来て、大きな浣腸器でお浣腸されたのよ！

産院の決まりだって！ 私聞いてなかったし、お便秘だったでしょう！ もう本当に恥ずかしかったわ！ 便の量を見るためだと言われて、便器に取られたのよ！ 便秘の便一杯出したでしょう！ もう恥ずかしくってイヤだったわ。その後で肛門に指で入れられて検査されたのよ！ 夜はまたお浣腸されたりで、女のお産って恥ずかしいことばかりだったのよ！」

咲恵の話では陣痛が弱く、お産を進めるために分娩室に入るまで二度も浣腸されたと言っていた。

「私は浣腸器で2回だったけど、隣のベッドの奥さんは石鹼浣腸されて泣いていたの！ ほんとに大変そうだったわ！」

「石鹼浣腸って？ どんなの？」

「助産婦さんと看護婦さん2人で来てスタンドに浣腸缶下げて600ccものお浣腸をされたって、お産した後で聞かされたの！ 便秘が酷くて詰まっついて普通のお浣腸じゃ出せなかったって！」  
咲恵の話では、朝の食事が済むと、部屋に助産婦が回ってきて、同室の4人の産婦は便通を確認されて、排便していない産婦は即浣腸器で処置されたそうだ。

4人の産婦がそれぞれ大きなお尻を出して助産婦に浣腸される情景は、さぞや見ものだっただろうと、私は話を聞きながら勃起してしまった。お産で女は身体の全てを曝け出して分娩する。

その結果としてお産した女は美しく開花するのだろう。

## 産後の体の回復

咲恵はよほど恥ずかしい経験だったらしく、私の胸に顔を付けながら甘えた声で話している。そうしていると咲恵の身体からほんのりといい匂いが立ちのぼってきた。

きつと話しているうちに興奮してきたのだろう。

寝巻きを捲つて股に手を入れてみるとパンツを湿らせていた。

その上からそつと弄つてやるとイヤイヤをしていたが、恥ずかしさを紛らわそうと品を作つて唇を求めてきた。濃厚にキッスしてやると、身体を熱くして応えてくる。

だが、まだまだ抱くのは我慢しなければならない。しかし咲恵は女をしつとりと濡らしている。

可愛さが募つてギュツと抱きしめると、あなた！と鳴いて布団を剥ぎ、私の勃っている陰茎を啜えて舐め出した。

「アアツ美味しいッ！ 嬉しい！」と言つて深く啜えピチャピチャと音を立てて扱き出した。

産後の肥立も良いのだろう、日毎に性欲が戻つてきて、抱かれがっていることは一目瞭然なのだ。

しかし医者には三ヶ月は我慢しろと言われているようだから、口だけで我慢させて解禁日まで女を濡れさせておくのも良いと思つている。

解禁日を迎えた時の寢床では、咲恵は新婚初夜の処女のような反応をする事だろう。

それを楽しみに69で口淫してやりながら尺八させて、当分の間二人共に我慢の夜を過ごさなければならぬ。

夜の寢床で咲恵の両腿を開くと、剃られた淫部にうぶ毛が生えて来て可愛らしい。

陰唇を舌で分けて愛撫しながら見てみると、5時の方向に切開された跡が紅く治りかけて盛り上がりつつある。早く治るようにと優しく舐めてやると、ああん！と鳴いて蜜を滲ませた。

咲恵の横に寝かせている里沙子の夜泣きがまた始まった。

咲恵は尻を出したままで向き直り、里沙子に乳を含ませている。

寝室に漂う母と子の濃厚な女の匂いに刺激されて、後ろから咲恵の尻を開けて肛門を弄ってやると、

「イヤッ！ ダメン・・・！」と言つて尻を窄めた。

## 女体の変化

咲恵はこのところ元気がない。

赤ん坊の世話で寝不足らしいが、産後の身体に何か問題を抱えているのか？

朝の出かけに様子を聞くと、「大丈夫よ！ 産後の女のことだから心配しないで！」  
と言つていたが、何時もの調子ではなさそう。今夜帰ったらよく聞いてみよう。

今日に限つて仕事で問題がおき、会議が連続してあつたため帰宅が大幅に遅れてしまい、家に着いたらもう9時を過ぎていた。電話しておいたので咲恵は玄関に迎えに出ていた。

鞆と帽子を渡して寝室へ向かい、ネクタイを外すと着物に着替えさせられた。

やはり自宅では着物が楽で良い。里沙子を覗くと静かに眠っている。

いつもは風呂が先だが、遅くなったので食事をしてから風呂に入った。

咲恵と一緒に入ろうと言つたら、はい！ いいわ！ と言つて後から入ってきた。

咲恵は妊娠初期から産後のことを意識して体を動かし、美容にも気をつけていたと見えて、この二ヶ月余りで身体は綺麗に回復している。

むしろ妊娠前より身体に脂肪がついたせい、丸みが増してより一層女らしい身体になってきた。

皮膚も張り切つていて、産後を思わせる皮膚の弛みもなく、色気が増した身体つきになっている。

いまだに剃られた陰毛が生えそろわず、股の間の陰唇の割れ目が丸見えだ。

一緒に湯船に浸かり咲恵の身体を撫でながら子供を産んで一層綺麗になったこと、女としての魅力が増したと耳元に囁くと、恥ずかしそうにそれでも嬉しそうに身体を寄せて接吻をねだってきた。

## 垢抜けした女

産後の女は特別に美しい。肌が透き通る様に白くなって、皮膚の下の静脈が透けて見えている。若い頃の海で焼けた皮膚など、ダメージを受けていた皮膚が妊娠中のホルモンの作用で新しく再生されたのだろう。これが女の“垢抜ける”という事なのだ。

皮膚の下に薄らと脂肪が乗って肌触りもしつとりと吸い付いてくる様な感触だ。

おっぱいもお尻もぶよぶよと柔らかく、ぎゅつと抱きしめてやりたくなる。

風呂の中で後ろから尻を割って手を入れると、イヤッ！と鳴いたが割れ目をヌルヌルと濡らしてしている。

肛門を撫でてやると指から逃げようとして尻を閉じるが、指を挟んでしまい、アンツ！とまた鳴く。

産後の咲恵は出産で女の性の本質を知ったのだろう、自然に色っぽい媚態を作るようになり、女として魅力的な愛すべき存在になった。

## 咲恵は便秘

やはり出産後の処女期間は、羞恥心が強くなるのだろう。

濡らしている割れ目を指でなぞり、肛門にも指を入れようとする、イヤッ！と尻を引いて逃げようとする。

「ああん！ 今週ちよつとお便秘なの！ そんな事して！ キライッ！ イヤンツ！ 恥ずかしー！」

咲恵は抱きついてきて甘えながら言い訳を始めた。

今日も通じが無く、5日間も便秘して食欲もなくて憂鬱な気持ちが続いているらしい。

里沙子の世話で、便所へ行くタイミングを外されているうちに便秘が進んだと言い訳している。

産後の身体はよく便秘すると助産婦から言われていたようで、病院に行くのかと聞いてみると、自

分で浣腸してみると言った。

俺が浣腸してやろうか？ と聞いたら、

「イヤッ！ 恥ずかしいわ！ そんなッ！ お産で何度もお浣腸されたのよ！ あなたにお浣腸されるなんてなんて！ はずかしくつて。」

膨らんだおっぱいを擦り付け身体をくねらせている。

お産で尿口も緩んでおしっこも漏らしやすくなっているらしい。

私に浣腸される時の羞恥の情景を想像して、咲恵は割れ目を濡らしまったようだ。

## 産後の初浣腸

風呂から上がり、一休みしたら寝室で浣腸してやることにした。

本人は恥ずかしかがっているが決して嫌がっていない。

咲恵は風呂上がりのピンクの肌で浣腸の準備をしているので、私は居間に戻って冷たいビールを開けタバコを一本吸った。

湯上がりのビールは美味い。急いで飲みながら咲恵の反応を想像した。

産後帰宅してからは初めての自宅浣腸だから、尻を開かれると処女のように恥ずかしがるだろう。

実際出産後はまだ一度も抱かれてもないから、最後の性交から半年近い処女の身体に戻っている。

寝室に戻ると布団の上にバスタオルを敷き、その上にイチジク浣腸やワセリンやティッシュやなど並べてあり、便器まで用意してあった。

多分浣腸で我慢できずに漏らす事を心配して用意したのだろう。

妊娠する前に酷い便秘になって私に浣腸されたとき、我慢できずに布団の上で漏らしてしまい、後始末しながら泣いて恥ずかしかがったことがあった。

私に浣腸されると目一杯我慢させられ、差込便器で排便を採られることも覚悟しているらしい。

浣腸の強い便意を我慢する恥ずかしさと同時に割れ目も女蜜でぬらぬらと濡らす事だろう。

今後の咲恵は便秘の度に何度か私に浣腸されながら、来月には産後の処女を破られる身体の準備ができてくる。

咲恵は両脚を抱えて尻を枕の上に乗せ、恥ずかしげに可愛い肛門を上向かせ、イチジク浣腸の挿入を待っている。

出産後に初めて夫にされる浣腸で、咲恵はどんな反応をするだろうか？ きっと処女のように恥ずかしがって、可愛い声で鳴いて我慢することだろう。

そして羞恥の浣腸と排便が終われば、膨れた陰唇をうるうると濡らしながら、

「あなた！ 抱いて！ もうイヤッ！ 我慢できないの！」

と飛びついてくる。しかし今夜もまだ挿入だけは我慢しなければならない。大事に大事に……！ ゆっくりと……！ 陰唇も肛門も舐めてやりながら、解禁日を楽しみに待つことにしよう。

<https://www.spaceginza.com/>  
SPACE 銀河